

循環器内科学セミナー

「音声言語と手話言語をつなぐものー言語学からみた聴覚システムと視覚システム」

8月28日 17:00~18:30
(月)

会場：日亜メディカルホール
(徳島大学病院西病棟11階)



菊澤 律子 准教授

国立民族学博物館
人類基礎理論研究部
総合研究大学院大学
文化科学研究科

人間の言語には、主として聴覚を使う音声言語と視覚を使う手話言語がある。いずれも自然言語であるが、表現方法（モード）が異なっている。このことから両者間では、言語処理のプロセスは共有されているが、物理的な産出に関わる部分で違いが出ると考えられる。ここでは、まず、手指日本語（日本語の手指表現）と自然言語である日本手話の違いを説明したあと、日本語と日本手話を例にとり、二つの言語の構造間の共通点および相違点について、言語学的な観点から論じる。また、これら一連の考察に基づく聴覚障害児の言語教育に関する考え方についても触れたい。

本セミナーは、
大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびに
クラスターコアセミナー（心・血管クラスター）を兼ねています。

主催：徳島大学大学院医歯薬学研究部 循環器内科学分野（内線 7172）

共催：NPO法人 徳島医学研究・教育支援機構